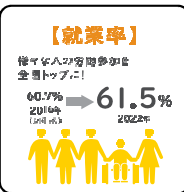
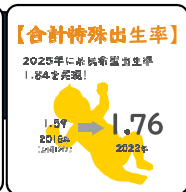




5 誰にでも居場所と出番がある県づくり



ひきこもりや就職氷河期世代の社会的自立への支援

◆ひきこもりや就職氷河期世代など社会で生きづらさを抱える方が、自立やステップアップに向けた適切な支援を受けられるよう支援体制を強化

《相談・支援体制の強化》

- (新)・ひきこもり状態の方の状況を把握・分析し、本人や家族と相談支援機関との橋渡しを行い、自立に向けて適切な相談支援機関につなぐ伴走コーディネーターを県内4か所に配置 1144万8千円 ⇒健康福祉部22
- ・ジョブカフェ信州の正社員チャレンジ事業において、新設の専門相談員(メンター)によるマンツーマン研修の実施など就職氷河期世代の就労支援を充実 2658万2千円(2486万4千円) ⇒産業労働部20

子ども・若者が希望を持てる社会づくり

◆誰もが夢や希望の実現に向けて挑戦できるよう、学習機会の確保を支援し、地域で子ども・子育てを支える体制を構築

《学習機会の確保》

- (新)・高等教育無償化に伴い、県立大学や技術専門校等の授業料等を減免するとともに、私立専門学校の授業料等の減免に必要な費用を負担 3億1296万5千円 ⇒県民文化部1・3
- (新)・通信制サポート校を利用する低所得世帯の生徒への支援 2310万円 ⇒県民文化部16
 - ・生活困窮家庭の子どもへの訪問による学習・生活支援を拡充(10地域→18地域) 1535万5千円(1205万3千円) ⇒健康福祉部22
- (新)・長期入院中の高校生に対するICT機器を用いた遠隔教育システムによる学習支援 509万9千円 ⇒教育委員会13

《相談・支援体制の強化》

- (新)・不登校などの要因分析調査や子どもの居場所のあり方に関する意見交換会を実施 137万7千円 ⇒県民文化部16、教育委員会9
 - ・身近な場所で専門的な児童家庭相談を行う児童家庭支援センターを増設(3か所→5か所) 6770万3千円(4197万3千円) ⇒県民文化部17
 - ・人工呼吸器など日常生活に医療が必要な医療的ケア児への支援を進めるため、医療的ケア児スーパーバイザーを設置し、関係機関との連携支援体制を構築 610万9千円(316万3千円) ⇒健康福祉部19
 - ・不妊治療で悩む方が周囲の理解とサポートが得られるよう情報発信を強化 179万2千円(70万3千円) ⇒健康福祉部25

多様性を尊重する共生社会づくり

◆誰もがいきいきと暮らし、能力を最大限に発揮できる社会を目指し、一人ひとりのニーズや特性に合わせた学習・暮らし・就労をきめ細かく支援

外国人と共に学び、共に活躍できる地域づくりの推進 1177万2千円(869万6千円) ⇒県民文化部5

- (新) ・外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」の普及に向けた事業者・行政職員向け講座を開催
- (新) ・先進的な多文化共生施策を実施するモデル市町村にアドバイザーを派遣し、取組を支援
 - ・多文化共生の拠点となるモデル的な日本語教室に日本語教師等を派遣

(新)性的少数者への理解促進 156万6千円 ⇒県民文化部11

- ・性の多様性を尊重する社会づくりのため、「職員向けガイドライン」の策定に引き続き、支援者の養成研修等を実施

障がい者と企業の出会いの場の創出 342万円(352万6千円) ⇒産業労働部21

- (新) ・企業担当者が先進企業の障がい者雇用の具体的な方法を学ぶ「企業見学ツアー」を開催
 - ・障がい者と企業との出会いの場となる合同企業説明会を開催

障がい者が安心して暮らせる地域づくりの推進 1274万6千円(856万6千円) ⇒健康福祉部18

- ・障がいを理由とする差別や障がい者虐待に関する相談対応や研修、出前講座を実施

女性が輝く社会づくり

◆仕事・地域・家庭において女性が個性や能力を発揮できる社会づくりを推進するため、学びの場づくりや環境整備など女性の活躍を支援

女性の学びの場づくりの推進 503万2千円(899万円) ⇒県民文化部12

- (新) ・市町村と連携して女性の社会参画を進める講座を開催し、地域のリーダーを育成
- (新) ・研修参加の経費負担を軽減し、中小企業で働く女性のキャリア形成を促進

離職後の再就職に向けた支援 3554万7千円(3577万9千円) ⇒産業労働部21

- ・地域ごとに女性就業支援員を配置し、相談からインターンシップまでワンストップの就業支援を実施
- ・おおむね30歳以下の従業員を対象とした就業継続のためのセミナーや交流会を開催